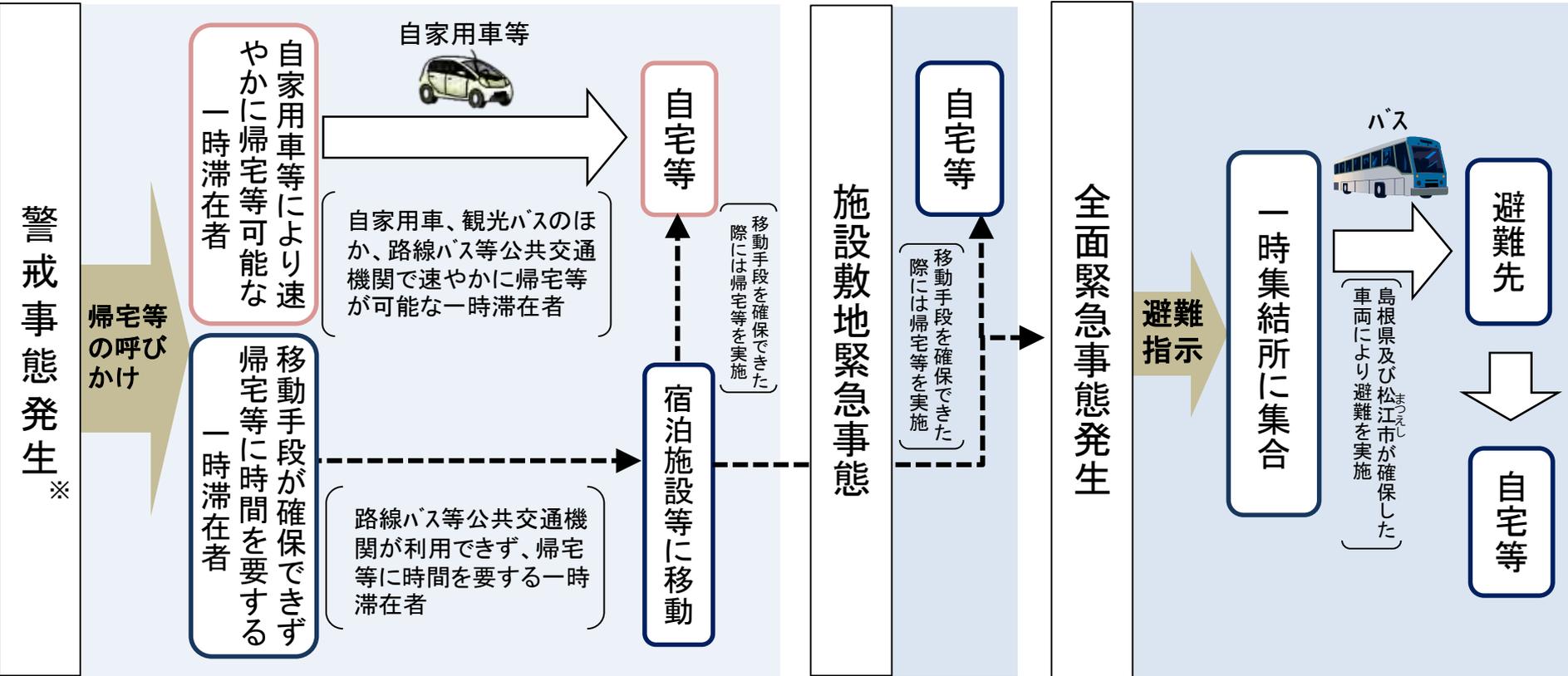


PAZ内の観光客等一時滞在者の避難

- 島根県及び松江市は観光客等一時滞在者については、警戒事態（地震等により原子力施設に異常が発生し、警戒事態に至った場合）において、帰宅等呼びかける。
- 自家用車等により速やかに帰宅等可能な一時滞在者は、警戒事態の段階で、自家用車等にて帰宅等を開始。
- 路線バス等公共交通機関も利用できない観光客など、帰宅等に時間を要する一時滞在者については、宿泊施設等に移動し、全面緊急事態の段階で避難を実施。避難の際には、徒歩等により一時集結所に集まり、島根県及び松江市が確保した車両により避難を実施。

<観光客等一時滞在者の避難の流れ>



※地震等により原子力施設に異常が発生し、警戒事態に至った場合

PAZ内の観光客及び民間企業の従業員の数

- PAZ内の観光施設における1日当たりの入場見込み人数は2,746人、民間企業は371社(約4,000人)存在。
- なお、民間企業の従業員の避難方法については、各事業所単位で周知(全面緊急事態で、自家用車等により帰宅)。

<PAZ内の観光施設の状況>

地区名	観光地・施設名	観光客入込客延べ数(人)	
		夏季(8月)	冬季(1月)
かしま 鹿島地区	あさひやま 朝日山	1,500	200
	さだ 佐太神社	2,200	62,000
	しまね 島根原子力館	8,323	3,213
	えとま 恵曇海岸	1,800	700
	こうら 古浦海水浴場	2,256	0
	かしま たく 鹿島多久の湯	15,748	18,868
しまね 島根地区	マリンゲートしまね	454	140
月合計		32,281	85,121
一日当たり平均		1,041	2,746

[入場見込み人数(冬季)] 約2,746人

「令和元年島根県観光動態調査」から推計

<PAZ内の民間企業の状況>

地区名	事業所数	従業員数(人)
かしま 鹿島地区	260	3,011
いくま 生馬地区	24	302
ふるえ 古江地区※	48	443
しまね 島根地区	39	310
合計	371	4,066

従業員については、通勤に使用する自家用車またはバスにより避難

出典:平成28年経済センサス - 活動調査 町丁・大字別集計
(総務省統計局)

※ 古江地区の一部区域がPAZとUPZIにまたがっているため、当該区域のUPZ内の数値を含んでいる。

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民及び観光施設から避難する一時滞在者は、合計1,883人分、バス60台。
- 全面緊急事態発生時には、島根県内のバス会社が保有する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転者については、島根県旅客自動車協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

<全面緊急事態で必要となる輸送能力>

	想定対象人数※1	必要車両台数	備考
		バス※2	
バスにより避難する住民	1,196人	40台	
観光客等の一時滞在者	687人	20台	観光客2,746人の75%程度が自家用車や貸切バス等で訪問していること(「令和元年島根県観光動態調査結果」から推計)を踏まえ、残りの25%程度を想定対象人数として算入
合計	1,883人	60台	

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 バス1台当たり35人程度の乗車を想定

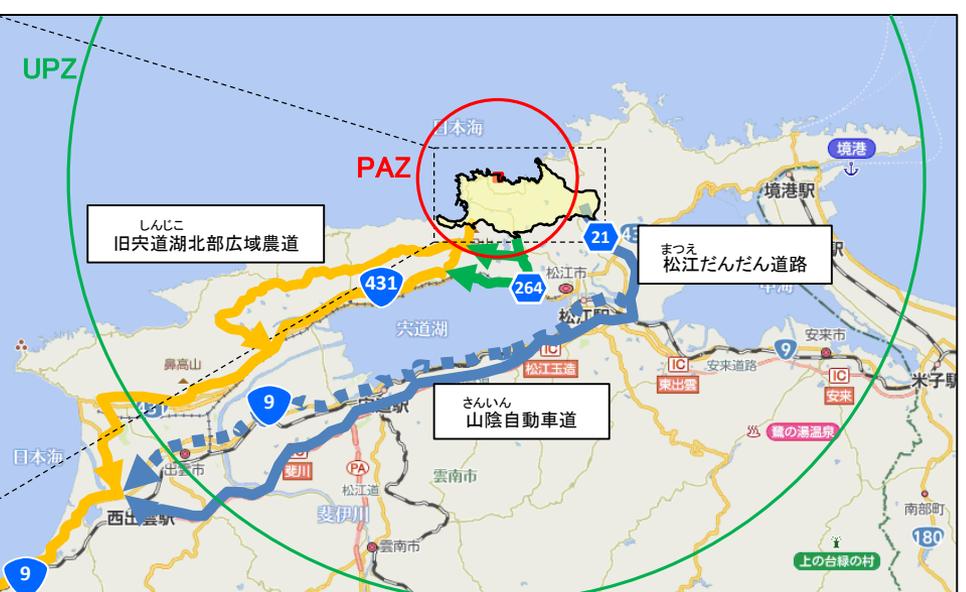
<全面緊急事態での輸送能力の確保>

	必要車両台数、確保車両台数		備考
	バス		
(A)必要車両台数	60台		
(B)確保車両台数	60台以上		
確保先	島根県内バス会社	60台以上	保有台数689台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

松江市鹿島地区から避難先施設までの主な経路

- ▶ 住民6,223人を十分に収容可能な避難所を確保するとともに、地域ごとにあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。
- ▶ バスにより避難する住民は、徒歩等で各地区内の一時集結所に集合し、島根県及び松江市が確保したバスにて避難を実施。



PAZ内 地域	PAZ内 住民数	バス避難 者数	自家用車等 避難者数
かしま 鹿島地区	6,223人	785人	5,438人

- 【凡例】
- 一時集結所
 - 避難経由所
 - 避難所

- おおだ あさなみ 大田市立朝波小学校
- おおだ 島根県立大田高校
- おおだ 大田市立第一中学校

※円滑な避難を実施するため、避難先市町が避難経由所を開設し、避難所の開設状況に応じて住民を避難所へ誘導
※避難経由所は、避難元地区の町字毎にあらかじめ選定済

【主な避難経路①】※片句、恵曇、手結、武代、古浦、佐陀本郷市道古浦西長江線→国道431号(市道古志大野線)→国道9号(山陰道)→大田市内

【主な避難経路②】※佐陀宮内、北講武、名分県道264号講武古江線→国道431号(市道古志大野線)→国道9号(山陰道)→大田市内

【主な避難経路③】※御津、南講武、上講武県道264号講武古江線→県道21号松江島根線→松江だんだん道路→国道9号(山陰道)→大田市内

松江市生馬地区から避難先施設までの主な経路

- ▶ 住民1,046人を十分に収容可能な避難所を確保するとともに、地域ごとにあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他の経路により避難を実施。
- ▶ バスにより避難する住民は、徒歩等で各地区内の一時集結所に集合し、島根県及び松江市が確保したバスにて避難を実施。

